

第2回 公立保育所の役割及び体制検討委員会 視察施設への事前質問 各園の回答一覧

資料3

園名			アレルギー食対応	防犯対応	子どもとの関係作りで一番心がけていることは？	保護者との関係づくりで難しいことは？	よく言われる「保育の質」として大切にしていることは？	保育環境・労働環境で大変なこと又はこうだったら良いなということとは？
白井ふじ	私立	幼保連携型認定こども園	別添資料のとおり	別添資料のとおり	*子の性格や特性を把握する。 *目線で向き合い子の意見に耳を傾ける。	*お互いの信頼関係 *家庭の状況や困りごとの相談	*理念の実践 *職員間の対話と風通し *結果だけを追わず過程も大切に	保育環境：近隣公園まで散歩時の安全確保 労働環境：財政の豊かな他市に囲まれ保育士はそちらに流れる傾向にあり処遇改善アップを行ってほしい。
ひまわり	私立	幼保連携型認定こども園	提供する場合、給食室→事務所→担任の3重チェックを行っています。給食の食器については色を変えて提供しています。 3歳未満児はアレルギー児用の机を用意し他の子の給食を食べるのを防止しています。  現在のアレルギー児の状況 ・卵2人 ・トマト1人 ・ナッツ1人	セキュリティについて登降園の門の施錠はその都度している状況です。自動の施錠はついていますが常時事務所に先生がいるとは限らず使っていない状況です。 現在検討中です。	園の理念でもある「あそびとえほんをたいてつにひとりひとりに寄り添い育てる」。 子ども達の特徴を捉えてひとりひとりに寄り添いコミュニケーションをとる。もともと定員が60名と少なかった園で、建て替えて85名と増えましたが、保育園時代の雰囲気や大切に職員全員が子ども達の名前を覚えるようなアットホームな感じを大切にしながら保育しています。職員と子どもの距離が近いというイメージです。	コミュニケーションをとる。子ども達の様子を出来るだけ伝える意識を強く持つ。 普段の様子をいかに伝えるかで信頼度がまし、ひいてはクレームを抑えるというメリットにも繋がります。 また、全職員の共通の意識として保護者とコミュニケーションをなるべくとる様意識して 園全体で保護者との関係づくりに努めています。	・一人ひとりの子どもに寄り添い育てる為に子どもの特徴を捉えて関りを深くする。 ・その為には担任は正職を基本としています。9時～16時までの間は担任が保育をするというのを心がけています。 ・夕方毎日ではないですが正職が時間外保育を担当する事により保護者とのコミュニケーションが取れるようにしています。 ・アンケートを取り保護者のニーズを把握しできる事は取り入れるよう努めています。 ・保育技術の向上の為研修を受ける機会を設け保育に活かせるように心がけています。 ・園長が色々な他市町村との園長との関りを通して保育に活かせるようアンテナを張る様、心がけています。	・ゆとりある人員配置 →保育士たちの負担軽減や保育の向上に繋がります。休憩時間や保育準備にあてる時間をきちんと確保できるよう検討しています。  ・保育者たちの処遇改善 →市町村によって差があります。保育の質を上げるには良い人材が必要です。
こざくら	私立	保育所	調理委託している。配膳盆の色を変え、保育士に渡した後、保育士2人がダブルチェックしている。	・常時施錠。カメラで確認後開錠。 ・防犯カメラあり ・保育士は防犯ブザー携帯 ・幼稚園、小規模保育所併設のため、各園で連携している。	・連休後やきょうだいが生まれる等、子どもが不安定になる時にはゆったりと受け入れ、子どもが納得するまで、保護者にも協力してもらい、保護者が難しい場合は保育士がサポートして関係性作りを細やかにしている。	・園との信頼関係を構築するため、職員には、保護者とよく対話するよう伝えていくが、保護者に会うためには残業となってしまふ。 ・立ち話での軽い会話から、個人面談ではしっかりゆっくり保護者の話を聞き、きめ細やかに対応している。 ・担任に言いにくいこともあるため、園全体で関わり、情報共有をしている。 ・園の状況に興味を持ってもらえるよう、自由参観や写真の掲示をしており、ゆくゆくはアプリ配信をしたいと考えている。	・子どもたちが、やりたいと思ったことを納得するまでやること、保育士は、なぜそれをやりたいと思ったのか、こどもの気づきを把握し、それをどう広げていけるかが大切であると思っている。 ・寂しい気持ちや悲しい気持ちも経験だが、保育士が、子どもの思いをどう受け止めるか、それをどう返せるかが重要である。	・保護者との関係性を作るには直接会っての対話が重要であるため、どうしても残業になってしまう。 ・一部の保護者は、「金を払ってるんだから」という姿勢で、そういう保護者が多くなり保育士の負担が増している。 ・当園は、駅から歩いて通えないため、車を持っていない若手は働きにくい。 ・処遇のよい東京方面へ流れてしまふ。

園名		アレルギー食対応	防犯対応	子どもとの関係作りで一番心がけていることは？	保護者との関係づくりで難しいことは？	よく言われる「保育の質」として大切にしていることは？	保育環境・労働環境で大変なこと又はこうだったら良いなということとは？	
南山	公立	保育所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アレルギー食希望者には事前面接を行い、医師による生活管理指導表に基づき、園での対応の可否、やその内容について検討している。給食での対応が困難な場合は、弁当持参をお願いしている。</li> <li>・前月末に、栄養士とクラス担当がアレルギー食対応献立について情報共有し、それを明記した資料を保護者に配付している。</li> <li>・給食室及び園の朝礼にて、当日のアレルギー食対応児及び対応内容について、職員に周知している。</li> <li>・該当クラスに普通食を配膳後、個人専用トレイにのせたアレルギー食を調理員が直接クラスに持参し、クラス担当に手渡ししている。アレルギー食調理者、クラスへの配膳者、クラスでの受取者は、記録を残している。</li> <li>・災害等非常時は、アレルギー食対応児と分かるよう、ピブスを着用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主なドアは日中施錠</li> <li>・防犯カメラ有</li> <li>・警備会社連携</li> <li>・不審者情報確認後マチコメール配信</li> <li>・登園しない家庭には、必ず連絡している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まずはよく関わる事。その中でよく話を聞いたりしながら子どもの成長発達や思いをよく知ることに努めています。日常生活の中で気づいた成長については十分に認めるようにしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の価値観や考え方を理解すること。保護者の不安や疑問に答えていくこと。保護者との信頼関係を築く。</li> <li>・保育士の当たり前と保護者の当り前の違いを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心安全な環境のもとそれぞれの個性を發揮して生活できる場を作っていくことが保育の基本であり、求められる「質」と考えています。「質」の向上の為に個人での振り返り、組織としての振り返りは習慣的に行うようにしています。</li> <li>・園内研修会として今年度のテーマは「日々の保育実践に役立つ実務内容（手遊び、体操）」です。ちなみに前年度のテーマは「不適切保育について」でした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事量が多くなりがち。（記録、職員連携、保護者対応等）</li> <li>・賃金が安い。（会計年度任用職員）</li> <li>・体力及びメンタルに負担が大きい。</li> <li>・保育士一人当たりが担当する園児数を少なくしてほしい。</li> <li>例：1歳児は6名→5名等。</li> <li>・時間外保育（延長保育）職員はほぼ会計年度任用職員で運営されている。保護者対応等ある為、正規職員が担当できるとよい。第三者評価保護者アンケートでも複数、意見が出されていた。しかし、正規職員のシフトが多くなると働きやすさに懸念が生じる。</li> </ul>
清水口	公立	保育所	<ul style="list-style-type: none"> <li>配膳盆の色を変え、調理員が直接本人に運んでいる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主なドアは日中施錠</li> <li>・防犯カメラあり</li> <li>・登園しない家庭は必ず連絡している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもを十分に受け入れてあげる。小さい子はスキンシップ、大きな子には、会話し、寄り添って、保育士のもとで、安心できるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>信頼関係を築くには対話が重要だが、メールや連絡帳では伝えきれないため、声をかけていきたい。子どもだけでなく、保護者にも声掛けすることで、安心感が増す。</li> <li>難しいのは、保護者が迎えに来る時間は正規職員は帰ってしまうため、そのための時間をなかなか取れないこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育士の資格が無くても、資質がある人もいれば、その逆もいる。研修などで質を上げていけると思う。また、不適切保育については、何が不適切とされるかをチェックリストで確認し、自己評価で反省している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正職員のサポートが必要だと思う。数が多いため、流れ作業的な対応になってしまう場面がある。</li> <li>・私立保育園は処遇改善費の要件として必要となるため、役職に合わせた研修が推奨されるが、公立はそれが無いので、なかなか研修を受ける機会がない。</li> </ul>

園名		アレルギー食対応	防犯対応	子どもとの関係作りで一番心がけていることは？	保護者との関係づくりで難しいことは？	よく言われる「保育の質」として大切にしていることは？	保育環境・労働環境で大変なこと又はこうだったら良いなということとは？	
桜台	公立	保育所	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アレルギー食対応（小麦・卵・牛乳他）</li> <li>・マニュアルあり。</li> <li>・医師からの指示書提出、栄養士と確認</li> <li>・毎月、担当と栄養士で翌月献立のチェックを行う。チェックした献立をクラスに掲示する。</li> <li>・朝礼で調理員がアレルギー対応の有無を発信。（給食・おやつ）</li> <li>・配膳盆の色を変え、大きな字で明記。</li> <li>・他児の配膳後に、言葉とともに配膳する。他の子とは、距離をとり別テーブル。</li> <li>・未満児の場合は、専属担当が見守り、拾い食い等注意している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主なドアは日中施錠。</li> <li>・防犯カメラあり。</li> <li>・連絡なく登園していない家庭へは、必ず連絡を入れ確認を行う。</li> <li>・登降園時、保護者には名札を身に着けてもらう。</li> <li>・来園者には、窓口で用件等記載し、園の名札を身に着けてもらう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信頼関係を築くためにスキンシップや応答的で心に寄り添った暖かい対応をするよう心がけている。</li> <li>・子ども一人ひとりにあった言葉かけをしたり、積極的に一緒に遊ぶようにし、楽しさを共有する中で安心感が生まれるよう接している。</li> <li>・子どもが困っている時は、思いを組み取ったり寄り添う等適切に対応し、人への信頼が育つよう心がけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者が子どものためと思って話す事でも、保護者に理解されない事も多く感覚の違いの難しさを感じることもある。また、保護者がメンタルの部分で疲れている時なども慎重に言葉を選んで対応するようにしている。</li> <li>※保護者も様々であるため、一人ひとりの状況・タイミングなどを見極め、伝え方・言葉を選び慎重に対応しなくてはいけないため、難しさ大変さを感じている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの立場になって考えるようにしている。その子の発達にあった声かけや関わりをし、それが上手くいかなかった時はどう声かけたら良かったのか、どう関わったら良かったのか考え、環境構成も見直し次へ生かしていくようにしている。</li> <li>・一人ひとりを大切にする（人権尊重）温かく丁寧な保育。</li> <li>・不適切保育をしない。何が不適切なのか？をチェックリストで確認し、自己評価し反省改善へと努めることで「保育の質の向上」に努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配置基準通りや余剰保育士なしでは、ゆとりなくこなす保育となり、安全面も危ぶまれたり、不適切保育へとなることも危惧される。</li> <li>・主体的な保育をどう進めていけば良いか迷いがあるが、保育者の配置が増えることで出来る保育が増えるのではと、感じることもある。</li> <li>・時間外保育職員が不足しているところを正規職員が補っている現状はかなり負担になっている。</li> <li>また、子どもの急変などに対応するために看護師は常勤が望ましい。</li> <li>・「質の向上」のため研修へはできる限り参加してるが、穴埋めが厳しい。保育士増員、配置基準の見直し時間外保育；人材不足解消</li> </ul>